

◆「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求め  
る意見書

昨年4月、オバマ大統領

の「核兵器のない世界」に向けた演説以降、核兵器廃絶に向けた世界的な流れは加速している。よって、国会及び政府においては、広島、長崎両市と、本市を含めた世界の3千680都市が加盟する平和市長会議で、2020年までに核兵器を廃絶するための具体的な道筋を示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、2010年のNPT再検討会議において同議定書を議題として提出するとともに、その採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働きかけるよう強く要請する。

【提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・外務大臣】

◆介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書

介護保険制度がスタートしてから10年を迎えたが、介護現場では深刻な問題が山積していることから、2012年に行われる介護保険制度改正

では、抜本的な制度設計の見直しが必要と考える。政府においては、以下の点について早急な取り組みを行うよう強く要望する。

- 1 早期に介護施設の待機者解消を目指す。
- 2 在宅介護支援強化のため、24時間365日訪問介護サービス、レスパイト（休息）事業を大幅に拡充する。
- 3 手続きを簡素化、要介護認定審査を簡略化する。
- 4 介護報酬を引き上げし、財源は国庫負担とする。
- 5 公費負担割合を5割から当面6割に引き上げ、2025年には介護保険の3分の2を公費負担でまかなう。

【提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣】

◆子ども手当の全額国庫負担を求める意見書

政府は、子ども手当の財源について、当初全額国庫負担と明言していたにもかかわらず、10年度限りの暫定措置とはいえ、一方的に地方にも負担を求める結論を出した。よって、11年度以降の子ども

手当の本格的な制度設計においては、当初明言していた通り全額国庫負担とし、また、扶養控除廃止などの増税なしで、新しい制度としてスタートすることを強く求める。

【提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣・総務大臣】

◆日米間におけるFTA（自由貿易協定）に関する意見書

わが国の農業を守るためには、41%にとどまっている食料自給率を当面50%台に引き上げる多面的、効果的な施策が必要である。しかし、このような状況にある時に、日米間においてFTAが締結されれば農産物の関税を撤廃することにつながり、食料自給率の向上どころか、わが国の農業、とりわけ米の生産に壊滅的打撃を与えることは必ずである。よって本市議会は日米間のFTA交渉は行わないよう要請するものである。

【提出先 内閣総理大臣・農林水産大臣・外務大臣・衆議院議長・参議院議長】



## 一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

Tsuchiura City Assembly

さわやか環境条例の改正と継続している課題について



竹内 裕 議員

質問 さわやか環境条例は、平成7年に条例化されたものであり、現在の猫やハトの餌付け問題等については、当時顕在化していない事例である。こうしたことから、このさわやか環境条例の改正作業に着手する時期が来たと考えられるが、改正する意思があるか伺う。

副市長 本条例は施行後15年が経過し、この間の社会情勢の変化に伴うライフスタイルの多様化、住民ニーズの変化、住民の生活環境や、それに対する考え方も少しずつ変化していることから、これら条例内容の精査を行い、現実に即した環境条例として改正したいと考えている。

市民生活部長 今年度の猫の餌付けに関する苦情については、全て職員が直接現場に向いた結果、それ以降苦情等は入っていない現状である。今後、猫の飼い方に対して広報紙に掲載するとともに、幸せな猫の飼い方・育て方といったパンフレットを作成してまいりたい。

（掲載以外の質問事項）  
二 消防体制を充実させるため、継続課題に対する取り組みについて

